



▶山口県宇部市

テクノロジー×アートで 若者の地元定着を目指す

多くの学生が就職に伴い、地域外に流出する中で、若者の地元定着を促進するためには、若者に地域の魅力を知ってもらう必要があります。宇部市では、山口大学工学部と宇部高等専門学校と連携して、世界的な専門家等を講師として招き、ICT分野や先進テクノロジー分野での人材育成を図るため、「テクノロジー×アート」チャレンジ講座と題して、学生や社会人を対象とした講座を設けています。この講座の内容をより充実させる

ため、クラウドファンディング型のふるさと納税を活用して、費用を募ることとしました。

寄附者に対しては、実績報告書とともに、講座の一環としてときわ公園で開催されたデジタルアート作品の発表イベントの招待券を送付しました。



「ときわ公園テクノロジー×アート人材育成プロジェクト」講座風景



プロジェクト参加者による作品制作

注力した点や工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、宇部市の先進的な取組を広くPRするため、新進気鋭のデジタルアート集団とコラボレーションした作品の動画を掲載しました。

Check

取組の効果

最近の取組では、「ときわ公園テクノロジー×アート人材育成プロジェクト」全15回の講座運営費用の一部としてふるさと納税を活用しました。起業の実学講座やデジタルアート作品の制作を通じて、参加者のスキルアップを図るとともに、起業・創業意欲の喚起、学生と地元企業の交流を促進しました。

また、ときわ公園で開催されたデジタルアート作品の発表イベントでは、約5万人が訪れるなど、交流人口の増加にも効果が表れています。



プロジェクト参加者が制作した作品



「チームラボ 宇部市ときわ公園呼応する森」デジタルアート

寄附者の声



・地域の活性化につながるイベントなので、これからも継続してほしいです。

住民の声



・ときわ公園がとても良くなっており、チームラボとのコラボも楽しめました。